

長期ステロイド使用後に姉妹で全身症状を経験し社会生活が戻った成人アトピーの経過 (24 歳・22 歳 女性 2 名)

症例 ID：001-20-NTa | 記録日：2001 年 7 月 29 日

1. 診断・治療前経過

姉妹とも幼少期からアトピーがあり、長女は乳児期から広範囲の症状と喘息が続き、複数の医療機関で長年ステロイド外用・内服を受けました。次女も比較的軽症ながら長期に外用を続けました。

成人後、姉妹が 2 週間差で松本医院の治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	姉妹とも長期にステロイド外用薬を使用し、長女は内服ステロイドも使用しました。
製品名	リンデロン、デルモベートほか複数です。
強度	最強クラスを含む長期使用歴があります。
使用期間	長女は乳児期から成人期まで、次女も長期に使用しました。
中止時期	成人後の松本医院受診時です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
治療開始 2～3 日	姉の急性悪化	全身の浸出液、腫脹、脱毛、発熱、浮腫、無月経がみられました。
開始後約 4 か月	姉のピーク	寝たきりに近い状態が続きました。
5 か月目	姉の変化	発熱と浸出液が減り、落屑量も少なくなりました。
8～9 か月目	姉の回復傾向	月経が戻り、起床して読書やパソコンができるようになりました。
次女開始 3 日頃	次女の悪化	浸出液と落屑が出て、約 2 か月半休職しました。
9 か月時点	次女の経過	アトピーと分かりにくい程度となり、会社勤務へ戻りました。

4. ピーク時期

ピークは、長女が治療開始後 2～3 日で全身の浸出液、顔面腫脹、脱毛、発熱、浮腫、無月経を伴い、約 4 か月寝たきりに近い状態となった時期です。

5. 困りごと

- ・姉妹が同時期に寝たきりとなり、家族の介護負担が大きくなりました。
- ・長女は脱毛、発熱、浮腫、無月経を伴いました。
- ・次女は約 2 か月半休職しました。

6. 経過のまとめ

9 か月時点で長女は起床して読書やパソコンができるまで体力が戻り、浸出液と落屑も減りました。
次女はアトピーと分かりにくい程度まで皮膚状態が整い、会社勤務へ復帰しました。

症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。